

RPAホワイトカラー革命

Windows操作ロボット

『WinActor』のご紹介

NTT DATA

情報種別：公開文書
会社名：株式会社NTTデータ
情報所有者：RPAソリューション担当

i IHS

INDEX

1. はじめに
2. RPAについて
3. WinActorについて
4. WinActorの導入事例
5. NTTデータが考えるRPAの展望

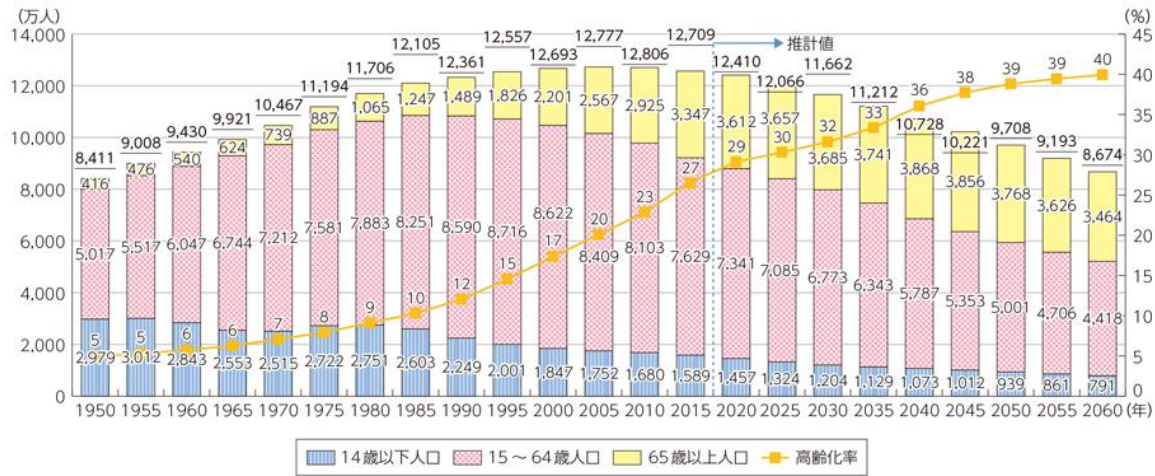
1

はじめに

日本は少子高齢化により労働人口が減少。それに伴い生産性が低下

日本は少子高齢化により労働人口が減少しています。労働人口が減少することで、当然ながら生産性も低下しており、世界を見渡しても、日本の労働生産性は非常に低い状態に陥っています。

減少する労働人口



【出所】：総務省 29年度情報白書「期待される労働市場の底上げ」
<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h29/html/nc135230.html>

時間あたり労働生産性の比較



注) 労働生産性は購買力平価換算USドル

【出所】：総務省 29年度情報白書「労働生産性向上の余地」
<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h29/html/nc141320.html>

時間あたり労働生産性の順位比較

2000年		2015年	
順位	国	順位	国
1	ルクセンブルク	1	ルクセンブルク
2	ノルウェー	2	アイルランド
3	ベルギー	3	ノルウェー
4	オランダ	4	ベルギー
5	米国	5	米国
6	フランス	6	フランス
7	デンマーク	7	ドイツ
8	ドイツ	8	オランダ
9	スウェーデン	9	デンマーク
10	英国	10	スイス
11	スイス	11	オーストリア
12	イタリア	12	スウェーデン
13	オーストリア	13	フィンランド
14	アイルランド	14	オーストラリア
15	フィンランド	15	英国
16	オーストラリア	16	イタリア
17	カナダ	17	スペイン
18	スペイン	18	カナダ
19	イスラエル	19	アイスランド
20	日本	20	日本

生産性向上が必要な中、「働き方改革」により残業も難しい状況

「働き方改革」により残業も規制されている中、いかにして生産性を向上させるかが課題となっています。
そのような状況の中、「定常業務の自動化」を可能とするツールとして「RPA」に注目が集まっています。



働き方改革関連法



時間外労働の
上限規制

施行：2019年4月～
(中小企業は2020年4月～)



年次有給休暇の
時季指定

施行：2019年4月～



同一労働
同一賃金

施行：2020年4月～
※中小企業におけるパートタイム・
有期雇用労働法の適用は2021年4月1日

2

RPAについて

RPA とはホワイトカラー業務を効率化・自動化する仕組みのこと

RPA（**R**obotic **P**rocess **A**utomation）とはルールエンジン・機械学習・人工知能などを活用し、ホワイトカラー業務を効率化・自動化する仕組みのことです。仮想的労働者（Digital Labor）とも呼ばれます。

これからの工場では・・・

**産業ロボットが人間に代わり
製品を組み立てるのが当たり前**



これからの事業所では・・・

**ソフトウェアロボットが人間に代わり
オペレーションする時代に**



RPA の役割は「企業活動プロセス全体を改革するエンジン」

企業活動のうちシステム化されている業務は一部であり、システム間には、入力データ準備、紙資料からのデータ投入など多数の手作業が残存。「RPA」は、システム間の手作業を自動化し、企業活動プロセス全体を業務改革することで、働き方改革や人材不足の解消に寄与します。

「RPA」導入前



ERP、CRM等、企業活動のうち
システム化されている業務はごく一部

システム間には、入力データ準備、紙資料からの
データ投入など多数の手作業が残存

「RPA」導入後



システム間の手作業を自動化し、
企業活動プロセス全体を業務改革

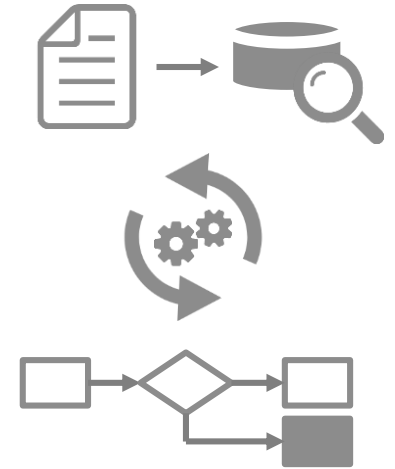
- ・ホワイトカラー業務の自動化・効率化⇒働き方改革
- ・人材不足の解消

RPA は、一般的に定常業務と言われる業務に適している

「RPA」は、情報が電子化されているものや、大量の反復操作を伴うもの、処理方針や判断ルールが明確なものに適しており、これまで人的リソースを割いていた業務を効率化・自動化することが可能です。

RPAの 得意業務

1. 情報が電子化（構造化・正規化）されているもの
2. 定常的に発生するもの（大量の反復操作を伴うもの）
3. 処理方針や判断ルールが明確なもの



<RPAが適用可能な機能の一例>

- ・キーボードやマウスなど、パソコン画面操作の自動化
- ・ディスプレイ画面の文字、図形、色の判別
- ・別システムのアプリケーション間のデータの受け渡し
- ・社内システムと業務アプリケーションのデータ連携
- ・業種、職種などに合わせた柔軟なカスタマイズ
- ・情報分岐設定やAIなどによる適切なエラー処理と自動応答
- ・IDやパスワードなどの自動入力
- ・アプリケーションの起動や終了
- ・スケジュールの設定と自動実行
- ・蓄積されたデータの整理や分析
- ・プログラミングによらない業務手順の設定

【出所】 総務省 http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/02tsushin02_04000043.html

現場主体でRPAの導入を推進することでモチベーションを向上

「RPA化」する業務を選定するには、現場の業務担当者に「ロボットに任せたい業務」をヒアリングし、対象業務を判断してもらうことが有効です。現場が主体となって業務改善を推進していくことで、より効果的の高い業務を「RPA化」していく好循環なサイクルが期待できます。

業務種別	関連部門	業務量	業務の種類
すでにシステム化されている業務	主にIT部門	比較的 ^多 め	比較的 ^少 なめ
システム化しても費用対効果が出にくい業務	主に業務部門	比較的 ^少 なめ	比較的 ^多 め

●▶ RPAの導入が最適だと考えられる業務

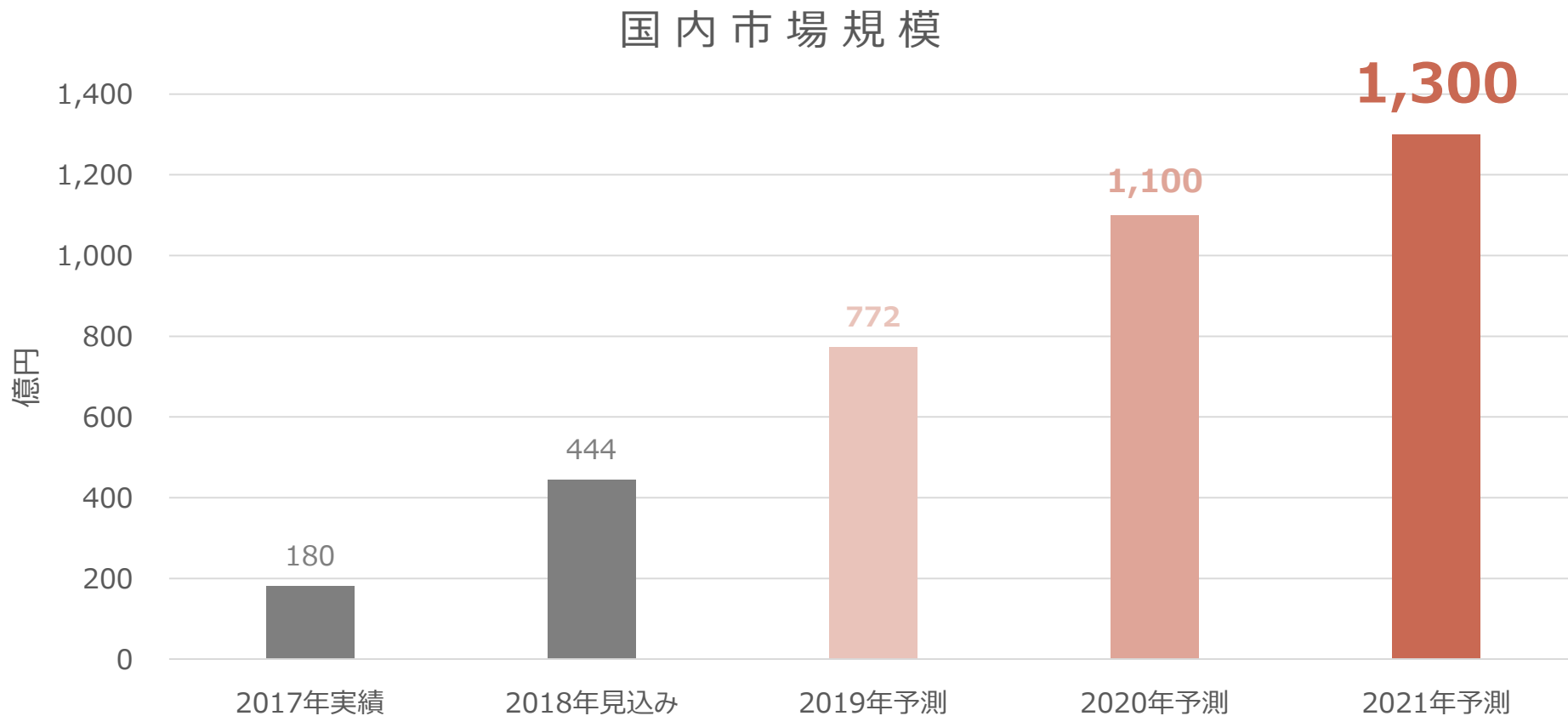
システム化しても費用対効果が出にくい業務に、
「RPA」というソリューションを導入することで・・・

より好循環なサイクルが生まれる



RPA は国内において2021年に1300億円規模に達する見込み

「RPA」の国内市場は年々右肩上がりでの拡大を続けており、2017年実績では約180億円、2021年には1,300億円の規模に成長すると予想されています。

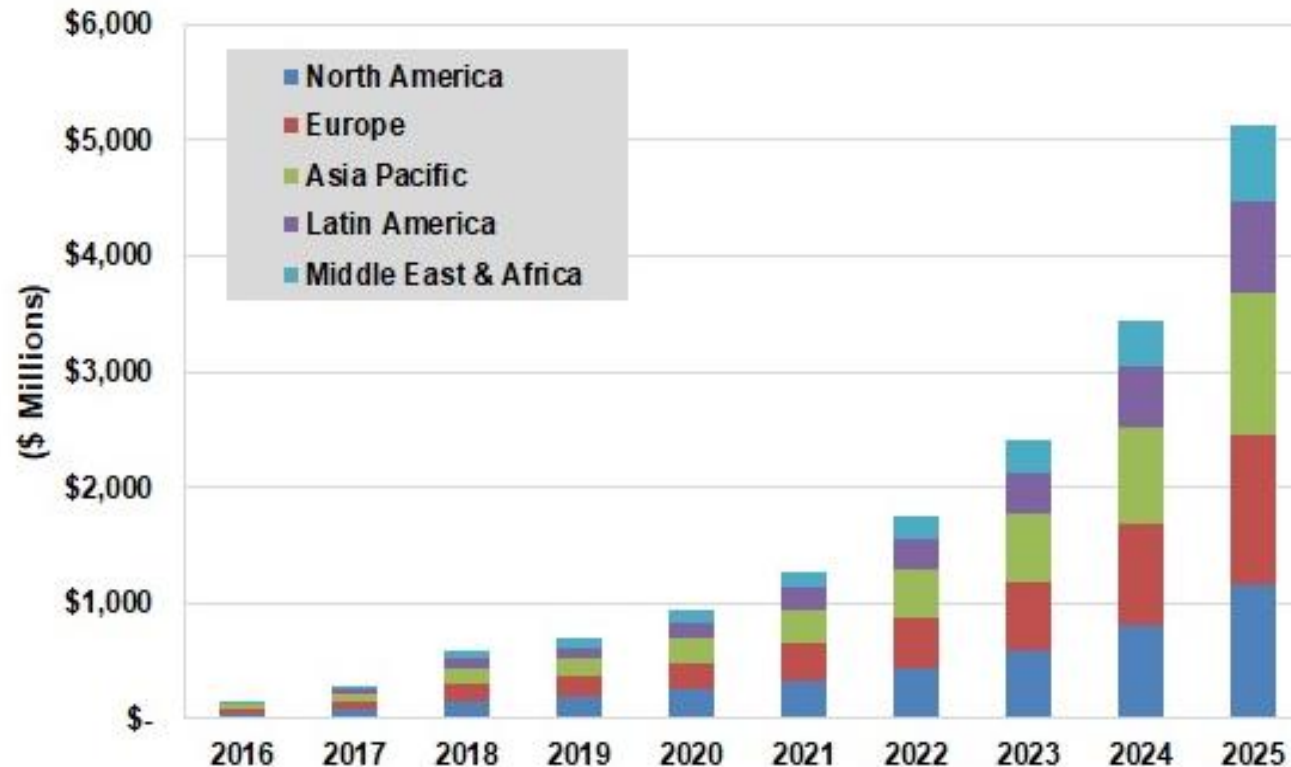


【出所】RPA市場動向2018ミック経済研究所

また、グローバルでは2025年に\$5,000Millionに達するとの試算もある

「RPA」市場は、将来的に劇的に増加すると予測されており、Asia Pacificエリアでの成長が期待されます。

Robotic Process Automation Revenue by Region, World Markets: 2016-2025



Source: Tractica

【出所】 <https://www.tractica.com/newsroom/press-releases/robotic-process-automation-market-to-reach-5-1-billion-by-2025/>

3

WinActorについて

I Tに精通していない現場担当者でも、直感的にシナリオ作成が可能

W indows PC上の殆どすべての動作を記録し自動化



WinActor®

WinActorは2010年にNTT研究所で産まれた純国産RPAソリューション

N TTグループにおける豊富な利用実績に裏打ちされた機能

人に寄り添い、互いに成長するRPA

WinActorが他のツールと違う8つの特徴

高い 信頼性

1
NTT研究所が開発！
9年の歴史をもつ安定感！

完全 日本語対応

2
マニュアルから
シナリオ作成画面まで
すべて日本語で対応可能！

簡単な 操作性

3
GUIを完備！
プログラミング知識や
特殊な言語は不要！

幅広い 対応ソフト

4
Windows端末から
操作可能な
あらゆるソフトに対応！

PC1台から 利用可能

5
特別な環境構築不要、
PCへのインストールのみで
スタートが可能！

充実した 人材育成制度

6
全国9拠点の研修センターと
国内初のRPA検定試験制度を整備し、
WinActor人材の育成に貢献

手厚い サポート

7
NTTデータが誇る万全の体制で、
導入前のお悩み相談から
導入後までお客さまをサポート！

リーズナブルな 価格帯

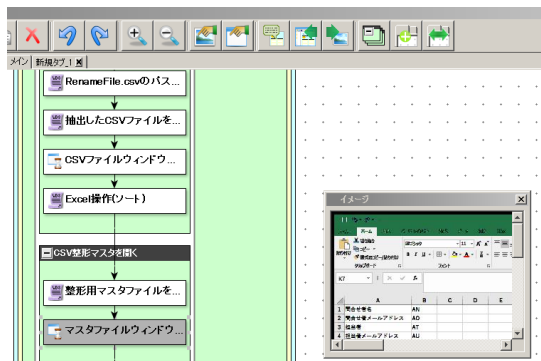
8
十数万円から
試行導入できる
価格帯！

WinActor は2010年にNTT研究所で生まれた純国産RPAソリューション

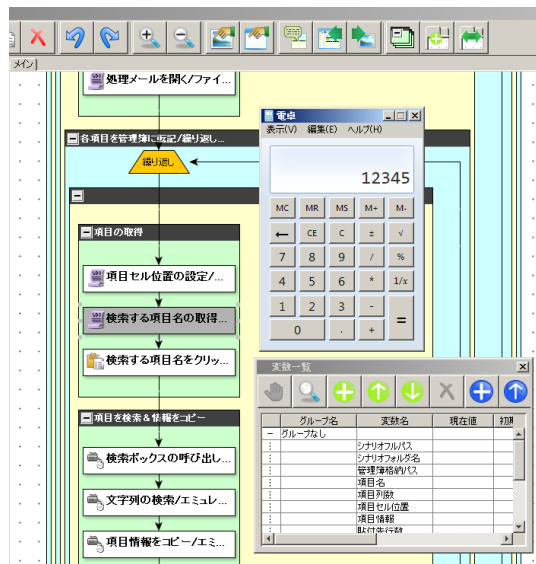
「WinActor」は、Excel・ブラウザ・個別の業務システム等、

Windows端末から操作可能なあらゆるアプリケーションの操作をシナリオとして学習し、PC操作を自動化するソフトウェア型のロボットです。

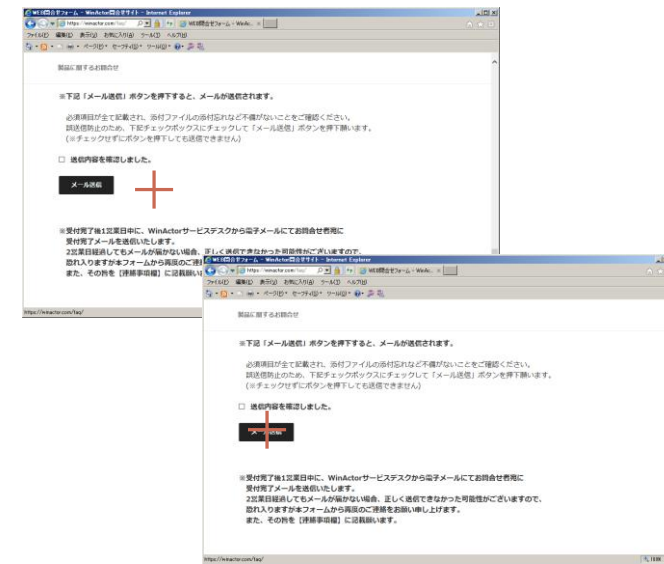
フローチャートに画面サムネイルを表示し、
編集時に作業イメージを簡単にする機能



編集時にアプリケーションのどの値を取り込めがいいの
かGUI上でフローに追加している機能



作業対象の画像を取り込み、
編集時に画像を見ながらクリック位置座標を
補正できる機能



WinActorは、可能な限りのGUI上での
操作フロー生成・編集機能をNTT特許技術によって実現しています

弊社ではRPA 領域に早くから取り組み大きく拡大

NTTデータは、他社に先駆け早くから「RPA」領域への取り組みを開始しており、2017年以降、「RPA」国内シェアNo.1をはじめ、多くの実績・評価を頂いています。

NTT DATA

WinActor®



1位 RPA 国内シェア ※1



MM総研大賞2019
スマートソリューション部門賞



1位 顧客満足度調査2018-2019
RPA 部門 ※2



JISA Awards 2019
WINNER



1位 パートナー満足度調査2019
RPA 部門 ※3



【※1】RPAバンク調べ 【※2】日経コンピュータ2019年2月21日号 パートナー満足度調査2019 【※3】日経コンピュータ2018年9月13日号 顧客満足度調査2018-2019

WinActor は純国産のRPA ソリューション

「WinActor」は、純国産のRPAソリューションであり、日本語に適したデザインレイアウトで設計させております。
また、「マニュアル」の他、「各種ガイドライン」、「手引き書」の関連資料は、すべて日本語にてご準備しております。

WinActor シナリオ作成ガイドライン

WinActor (シナリオ作成ガイドライン) Last updated 2019/06/10

2.2 シナリオ作成の基本方針

2.2.1 メインタブ

- シナリオはできるだけシンプルにする。
- メインタブ内のノードが多くなり、見づらい場合には追加サブタブを作成すること。

2.2.2 タブ

- 1つのサブタブにつき、1つのタブを作成すること。
- タブが多くなると各サブタブへの移動は、バレットエディタサブタブから行なえない。

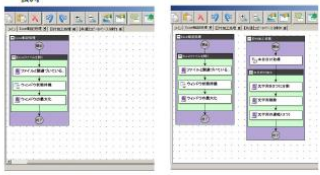


図 2-2 タブ使用例

2.2.3 サブルーチン

- 「同一画面やアプリケーションへの一連の操作」または「シナリオで何度も必要とされる定型的な操作」をサブルーチンとして作成すること。
- 1つのサブルーチン内のノードが多くなり見づらくなる場合は、サブルーチンから更に別サブルーチンへ分解すること。

※「画面やアプリケーション単位で一連の操作」例

- IEで検索し、結果から情報を取得する
- Excelから必要な項目を取得し、別 Excelへ転記する
- 社内システムから Excel ファイルをダウンロードする

Copyright © 2019 NTT DATA CORPORATION 6

WinActor 全社適用にむけた ルール・環境整備ガイドライン

1. 概要

本書の位置づけ

WinActor を利用する場合、まずは導入部署が属するいくつかの部門で先行的に導入を行い、その実績を基に、全社適用可能なルールや環境整備を行った後に本格的に全社で適用するアプローチを推奨いたします。

本ガイドラインは先行実施の経験からどのようにルールや環境整備を行うかと全社適用後の管理・運用保守作業としてどういった対応が必要となるかを解説いたします。

業務の自動化を行う上での進め方については、別途作成しておりますシナリオ開発標準をご確認ください。

1.1 導入の位置づけ



図 1-1 WinActor 利用における標準フロー

WinActor 導入・管理運用準備
シナリオ開発標準の検討
業務の自動化
WinActor の導入・管理
導入検討
先行導入
評価・全社適用検討
ルール・環境整備
全社適用
運用保守
管理
高稼働 (稼働計画)
不具合対応

Copyright © 2019 NTT DATA CORPORATION 4

シナリオ作成実践の手引き

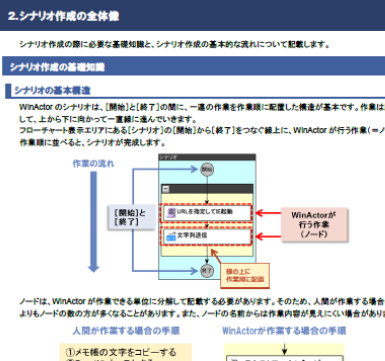
2. シナリオ作成の全体像

シナリオ作成の際に必要な基礎知識と、シナリオ作成の基本的な流れについて記載します。

シナリオ作成の基礎知識

シナリオの基本構造

WinActor のシナリオは、【開始】と【終了】の間に、一連の作業を作業順に配置した構造が基本です。作業は原則として、上から下に向かって一連続に進みます。フローチャート形式のシナリオの【開始】から【終了】をつなぐ線上に、WinActor が行う作業（ノード）を作業順に並べるとシナリオが完成します。



作業の流れ

【開始】と【終了】

WinActor が行う作業 (ノード)

ノードは、WinActor が作業できる単位に分解して記載する必要があります。そのため、人間が作業する場合の手順よりもノードの数の方が多くなる場合があります。また、ノードの名前からは作業内容が見えない場合があります。

人間が作業する場合の手順

- 1) 手帳の文字をコピーする
- 2) Excel にペーストする

WinActor が作業する場合の手順

- 1) テキストファイルのコピー
- 2) キーボード
- 3) Excel 操作 (値の設定)

作業に使う値が変動する場合は、各ノードのプロパティに「変数」を登録します。条件によって作業を分岐させたり、繰り返したりする場合は、「分岐」「繰り返し」等のノードを追加します。

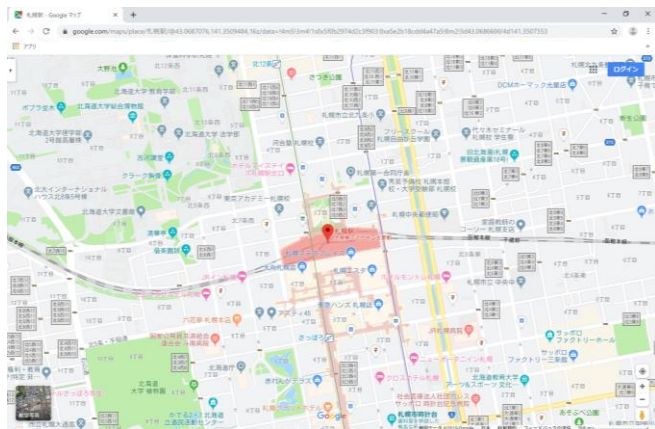
Copyright © 2019 NTT DATA CORPORATION 6

WinActor は人間の数倍の速度で各アプリケーションの操作を代行

例えば、顧客住所を地図ソフトで検索し、その地図を画像化し「Word」に貼り付けるといった単純な作業を人間の数倍のスピードで代行します。

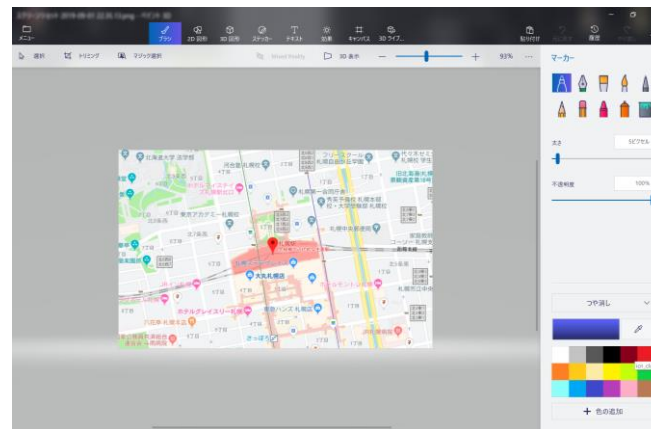
地図の表示

地図ソフトや地図検索サービス等で
該当住所を検索



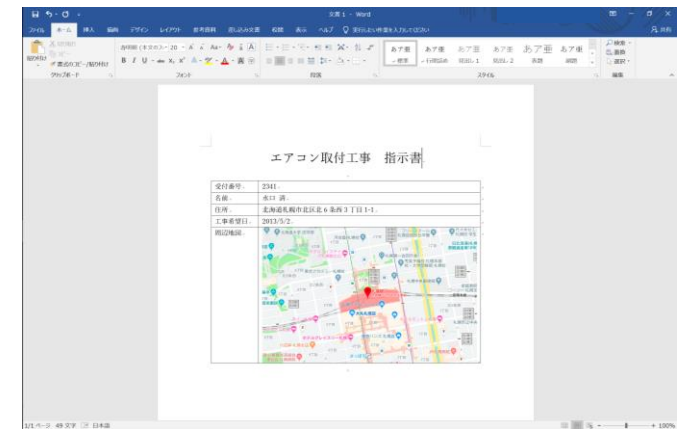
画像の取り込み

画像ソフトで
その地図を画像化



指定文書への貼付け

指定のWord文書を起動し
地図画像を貼付け





The screenshot displays the WinActor interface. On the left, a map shows a residential area with several buildings highlighted in red. On the right, a form titled "エアコン取付工事 指示書" (Air Conditioning Installation Work Instruction Sheet) is open. The form contains a table with the following structure:

受付番号:	0000
住所:	〒100-0000 東京都千代田区千代田
建物名:	〇〇ビル
取付場所:	〇〇号室
備考:	

Below the form, a smaller version of the map is visible, showing the same red-highlighted buildings.

【WinActorが代行中】
ファイル名に受付番号をつけて保存



Presheet-008

検索 印刷 実行 終了

検索条件: 10-0, 10-01, 帳簿ID: 008, 印刷日時: 2019/06/26 16:17:04

品名: 汎用電源ケーブル

品名	数量	単価	金額
汎用電源ケーブル	000-000-0000	000-000-0000	通貨 2.00
	000	3	¥30,000
	000	2	¥24,000
	000	1	¥30,000
	000	2	¥40,000
	000	1	¥100,000
	000	10	¥10,000

品名	数量	単価	金額
品名コード1	800002		
品名2	FOCケーブル100m		
単価	12,000		
合計			¥24,000
品名コード2	800050		
品名1	ケーブル終端装置AA 1		
単価	30,000		
合計			¥30,000
品名コード4	800040		
品名4	FOCケーブル100個		
単価	20,000		
合計			¥40,000
品名コード5	800025		
品名5	屋外設置用利体型		
単価	100,000		
合計			¥100,000
品名コード6	800000		
品名6	ケーブルケーブル40-W		

印刷 7

そして、プログラミング等の特別な知識が無くても簡単にシナリオ作成が可能

本来であれば、一定の知識・経験がないと難しかったプログラミング等の特別な業務においても、WinActorを導入することで、それらの業務操作をミスなく、自動で正確に表現します。

シナリオ自動記録

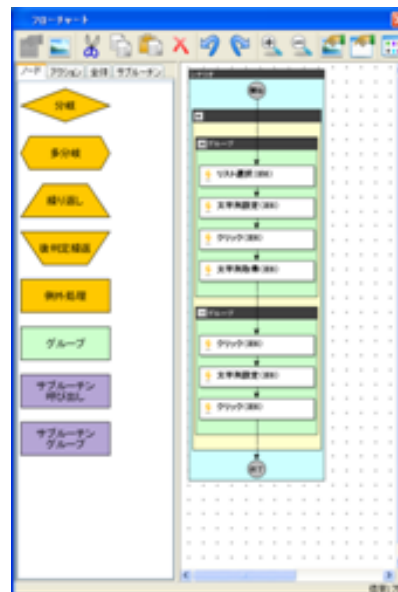
業務操作をWinActorが学習、
シナリオのひな型を作成

記録



シナリオ編集

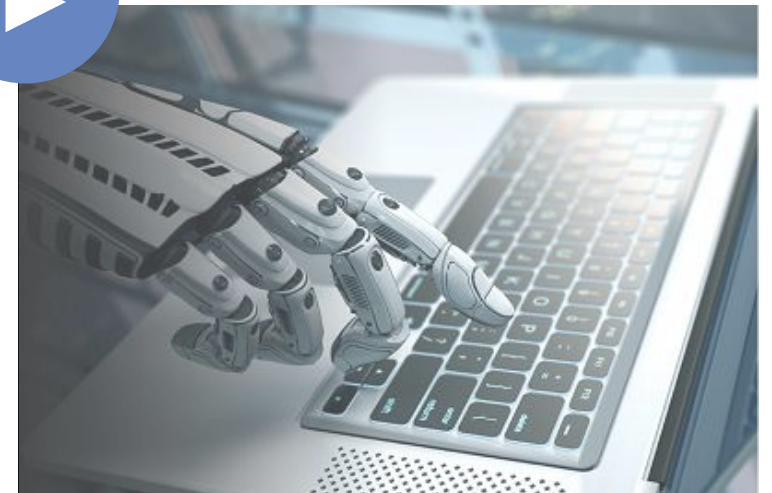
GUI操作でシナリオの
動作条件を編集



シナリオ実行

業務操作をWinActorが
自動で正確に再現

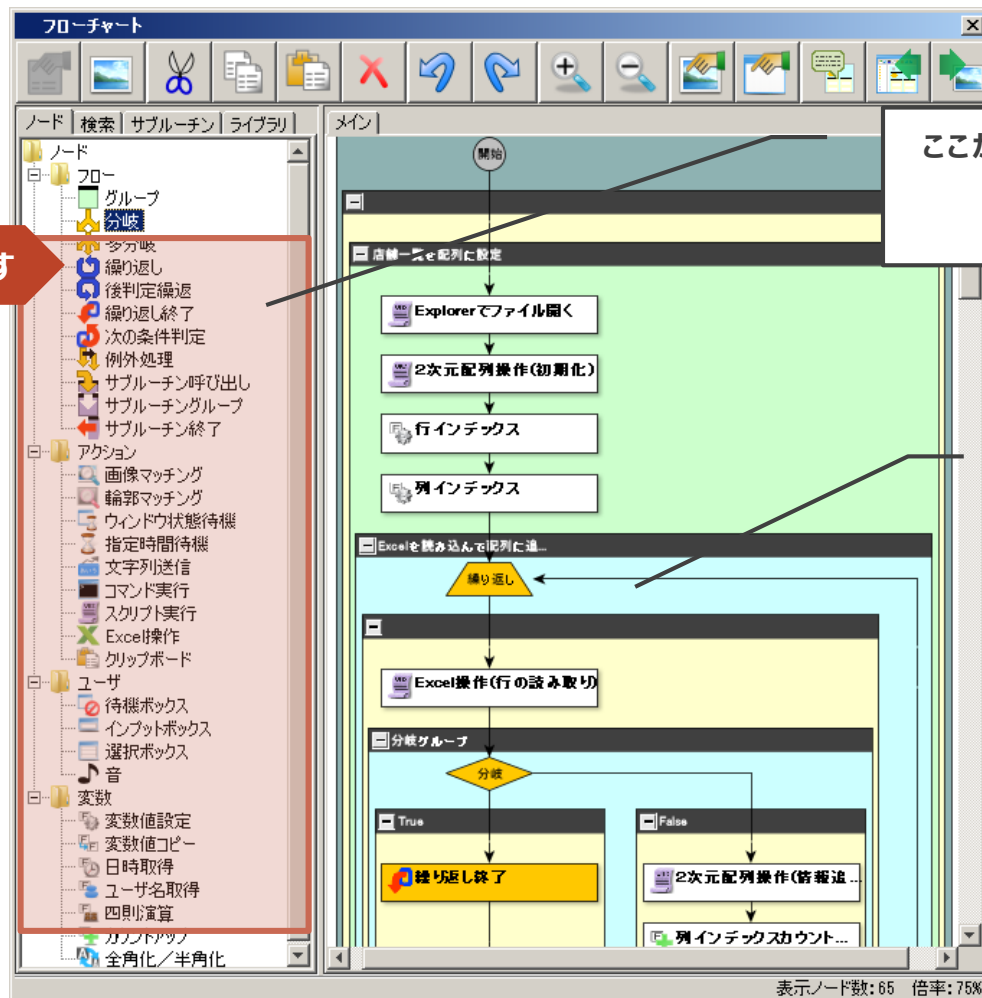
実行



シナリオ編集も画面上でのドラッグ＆ドロップ、クリック操作で簡単

「WinActor」は「現場フレンドリー」なRPAとして、徹底的に使いやすさにこだわっています。業務シナリオの作成・編集を補助する400以上の部品が「ライブラリ」として用意されており、フローチャートにドラッグ＆ドロップするだけでシナリオを作成・編集することができます。

豊富なユーザライブラリを備えています



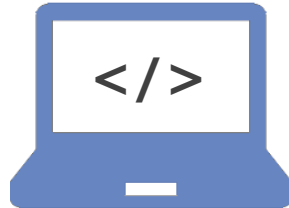
ここからドラッグ＆ドロップ操作を行うことで、フローチャートに条件分岐、繰り返しの部品を配置できます。

ここにシナリオのフローチャートが表示されます。ドラッグ＆ドロップ操作で配置を変えることができます。

4つの認識機能を組み合わせ、あらゆるソフトウェア操作の自動化を実現

WinActorは4つのインターフェースを用いて直感的にシナリオを開発・改修することを可能にします。

UI識別型 / 構造解析
(IEモード / イベントモード)



【IEモード】

IE上の操作の自動記録機能。カバー範囲は狭いが、シナリオ作成のしやすさ、安定起動などがメリット。

【イベントモード】

Windowsの純正ライブラリで作られた画面操作を記録する機能。
例：「名前をつけて保存」の画面

ファイル向け / 外部接続IF
(ライブラリ)



IE以外のWindows上の操作を記録できる機能。Chromeや、SAP、Notes等と連携しやすく、ライブラリ数は現在約400個。

画像識別型
(画像マッチング)



指定した画像が対象のWindow上にあるかどうかマッチング確認する機能。それをフックにして、後続の処理に移行していく。

PDFやTXT、JavaやFlashも認識可能。

座標指定型
(エミュレーションモード)

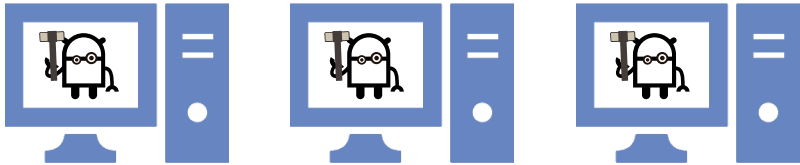



マウスやキーボードの操作を記録できる機能。

指定した起点（= WinActorでは“原点”）をもとに、位置を記録していく。4つの中で、最もシンプルでカバー範囲が広いのが特徴。

WinActor はPC 1台から利用できます

「WinActor」は、Windowsの「クライアント」及び「サーバー」OSそれぞれの実行環境に対応したライセンス※₁をご用意しています。
特別な環境構築は不要で、インストールのみで直ぐにご利用いただけます。

	クライアント型	サーバー型
形式	<ul style="list-style-type: none"> ● PC 1台ごとに「WinActor」をインストールする形式 ● 利用するPCごとにライセンスが必要  <p>PC上でシナリオ作成・動作</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● サーバの各ユーザプロファイルごとに「WinActor」をインストールする形式 ● ユーザプロファイルごとにライセンスが必要  <p>サーバー上でシナリオ作成・動作</p>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ● 特定の部門で部分的に利用したい場合など小規模導入向き 	<ul style="list-style-type: none"> ● サーバー上で「WinActor」を一元的に管理するため大規模導入向き
利用目的	<ul style="list-style-type: none"> ● クライアントで実行する業務を「WinActor」が代行 	<ul style="list-style-type: none"> ● サーバーで実行する業務を「WinActor」が代行

【※1】ノードロックライセンスのみ【※2】リモートデスクトップサービス

WinActor の人材育成制度

「RPA」の導入を成功に導くには、社内の有識者が推進役となって、「RPA」に対する理解を社員へ展開していくことも重要なポイントです。私たちは、現場担当者が「RPA」を使いこなせるように、研修や検定制度を設け、「WinActor」人材の育成をご支援しています。

インプット

アウトプット

<E-ラーニング>

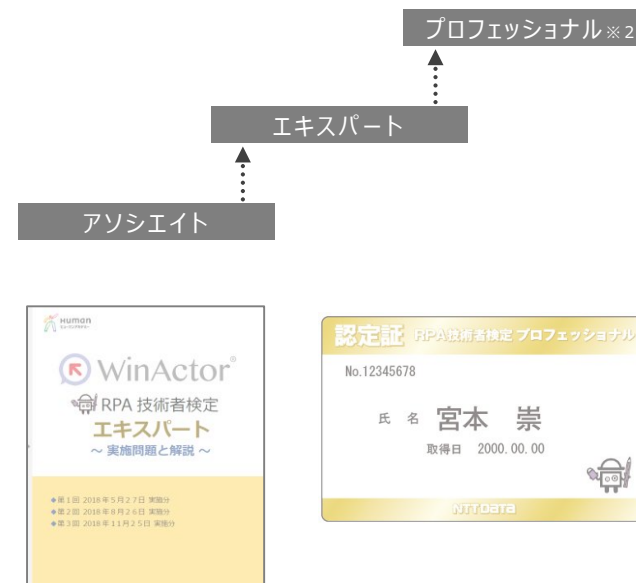
無料講座	特徴	受講サイト
	<p>初級</p> <p>初級向けの内容です。</p>	受講はこちら
	<p>中級</p> <p>中級向けの内容です。</p>	受講はこちら
	<p>上級※1</p> <p>上級向けの内容です。</p>	受講はこちら
有料講座	特徴	受講サイト
	<p>初級</p> <p>現場でシナリオを作成される方向けの学習コンテンツです。シナリオづくりで楽しく、「シナリオ作成の悩みあるある」をコンテンツとしてまとめました。シナリオ作成初心者も安心してご利用いただける内容です。</p>	受講はこちら
	<p>中級</p> <p>NTTデータ公認のeラーニングを提供しています。ユーザー体験の高いeラーニングプラットフォームをご利用いただけます。お申し込みは即座に受け付けます。</p>	受講はこちら
	<p>上級</p> <p>FCモーターが提供するeラーニング。サンプルのシステムやシナリオを含めた実習環境100個以上を目的にWinActorを操作しながら学習いただけます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・RPA導入の法人のお客さまにおける社内向け人材育成 ・RPAの導入を検討されている法人のお客さまに提供する基礎知識、操作手順習熟 ・法人のお客さまにおけるキャリアアップなどを目的としたRPA基礎知識、操作習熟 	受講はこちら

https://winactor.com/e_learning/

<WinActorシナリオ作成技術者養成研>



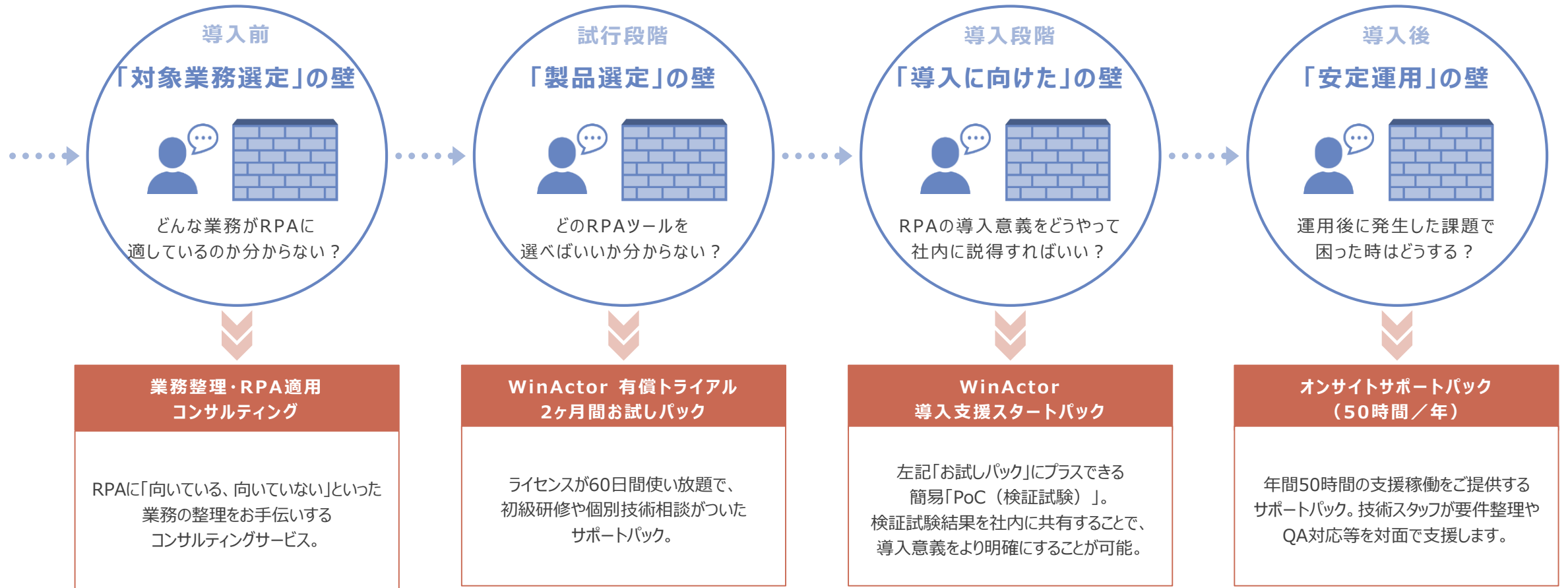
<RPA技術者検定®>



【※1、2】準備中

導入前のお悩み相談～導入後の安定運用までをサポート

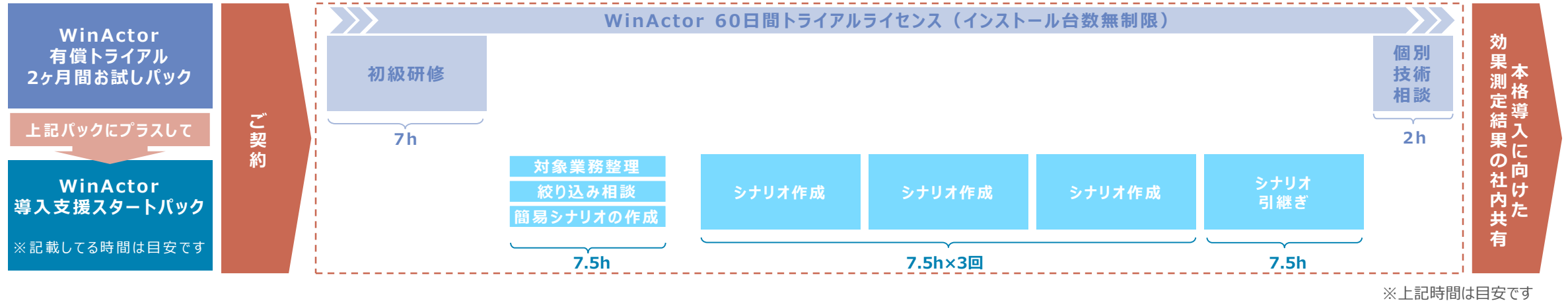
「RPA」を導入する際に越えなければならない課題（壁）に対して、様々なメニューで導入・支援させていただきます。
お客さまに安全かつ安心して「WinActor」をご導入いただけるための各種サポートサービスを取り揃えております。



各サポートサービスの詳細は『「WinActor」関連商品ガイド及び価格表』にてご紹介しております。

導入意義の明確化に向けた支援サービス

「WinActor 有償トライアル2ヶ月間お試しパック」の期間中に、簡易「PoC※」を実施していただくことをご提案しています。
検証試験結果を社内共有することで、「RPA」ツールの導入意義をより明確にすることができます。



WinActor 有償トライアル2ヶ月間お試しパック

- 初級研修と対面での技術ディスカッションも含まれており、円滑な「WinActor」の導入スタートをサポートいたします。
- ご契約時に、初級研修の開催形式（集合型／訪問型）をどちらかをお選びいただけます。

<本パックに含まれるもの>

60日間のトライアルライセンス（インストール台数無制限）／7時間の「初級研修」（休憩1時間含む）／2時間のお悩み解消「技術ディスカッション」（Web・TV会議での実施も可能です）

WinActor 導入支援スタートパック

- 「WinActor」製品版ライセンスをご購入、または「WinActor 有償トライアル2ヶ月間お試しパック」を実施されている方向けに簡易「PoC※」としてご提供させていただきます。
- 技術スタッフが、「WinActor」の操作レクチャー・シナリオ作成支援を行います。非連続の5人日相当の支援作業となります。

※【PoC】 Proof Of Concept / 検証試験

簡易「PoC」実施事例

銀行 営業店別日足の作成業務


営業店別の貸出／預金情報の日次データを前年データと比較する集計表を作成

 手作業  **WinActor**

約40分 **約93%の** 稼働削減 **約3分**

クレジット 顧客データ抽出・加工作業

各部門からの要請を受け、要請別の顧客データの抽出・加工し提出

 手作業  **WinActor**

約64時間 **約75%の** 稼働削減 **約16時間**

官公庁 職員の目標集計業務

四半期毎に各課（約150課）から提出される目標の集計

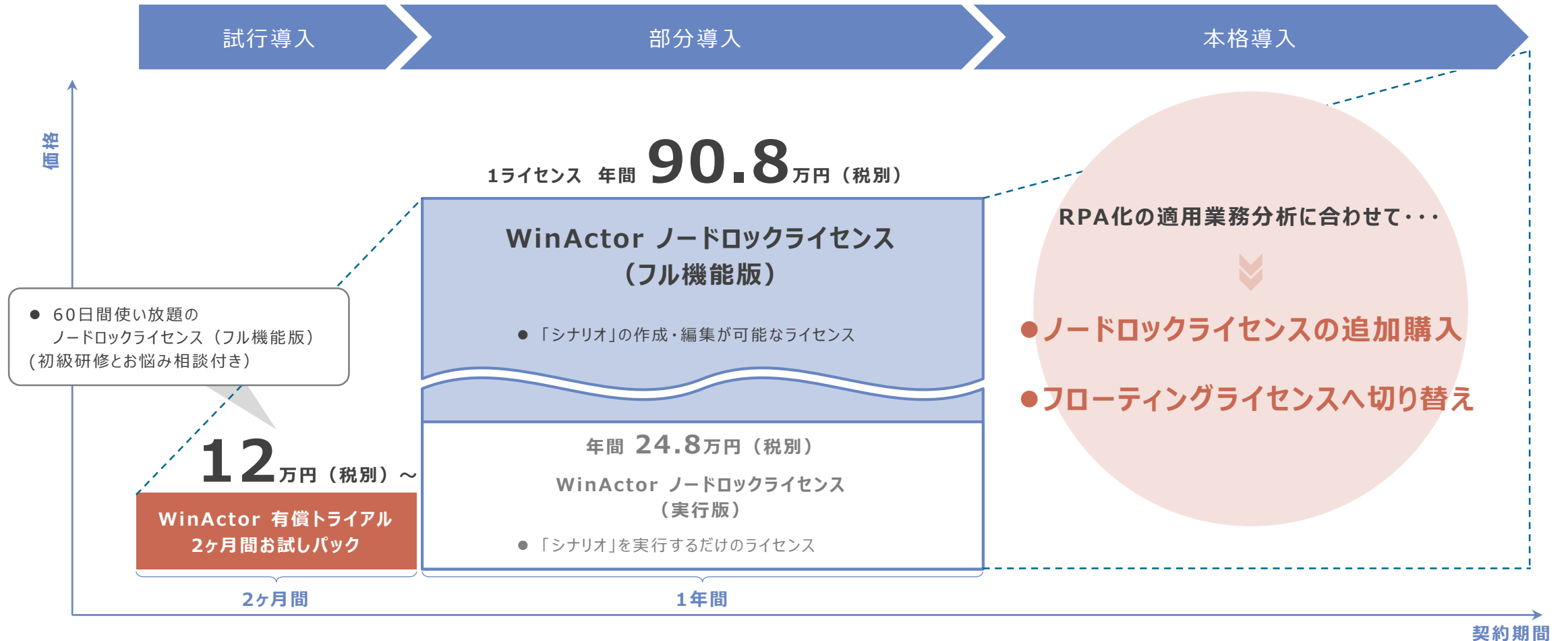
 手作業  **WinActor**

約146分 **約54%の** 稼働削減 **約68分**

※各導入効果の範囲は、人の高度な判断など、自動化不可業務を除いて算出しています。

試行導入から段階的に始められるライセンス形態

「WinActor」は、十数万円の試行導入から始められるライセンス形態をご用意しています。
まず部分的に導入してから、「RPA化」適用業務の検討状況に合わせて段階的に拡大していくことが可能です。



WinActorのライセンス形態について

「ノードロックライセンス」と「フローティングライセンス」をご提供。お客様のご利用形態にあわせて最適なライセンス形態をご選択いただけます。



小さくスタートして成長に合わせて導入を進めたい



「ノードロックライセンス」をおすすめします

ノードロックライセンス

「WinActor」のライセンスは運用する端末本体に紐づけ



- ライセンスをインストールした端末のみ「WinActor」の利用が可能です。
- 運用で必要となる端末数分のライセンスが必要です。



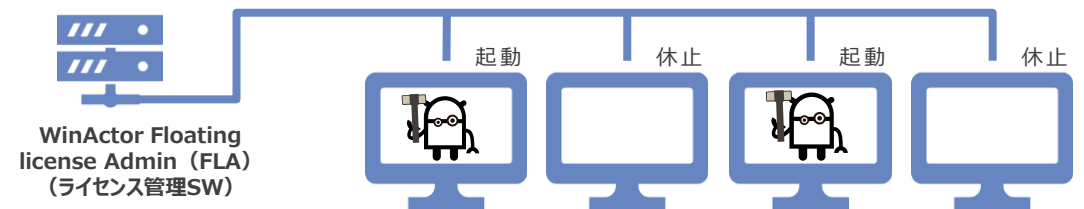
組織全体でライセンスを効率的に利用したい
ライセンス管理の負担を軽減したい



「フローティングライセンス」をおすすめします

フローティングライセンス

購入したライセンス数の範囲であれば、
端末を限定せず「WinActor」の利用が可能



- ライセンス管理サーバ上で「WinActor」のライセンスを一元管理します。
- 運用で同時利用する端末数分のライセンスが必要です。
- ※ フローティングライセンスを利用するためには、「WinActor Floating license Admin (FLA) 」 (ライセンス管理ソフトウェア) のご購入が必要です。
尚、利用端末には、「WinActor」のフローティングライセンスをインストールする必要があります。

4

WinActorの導入事例

WinActorの導入事例について

提案先によって、導入事例を差し替える運用を想定しています。

各パートナー様で、お使いになっている導入事例を差し込んでご利用ください。（既存のものはサンプルです）

導入事例 【クレジットカード業】デビットカードに関するデータ処理業務

大手クレジット会社 様

導入部門・・・業務部

設立・・・1961年

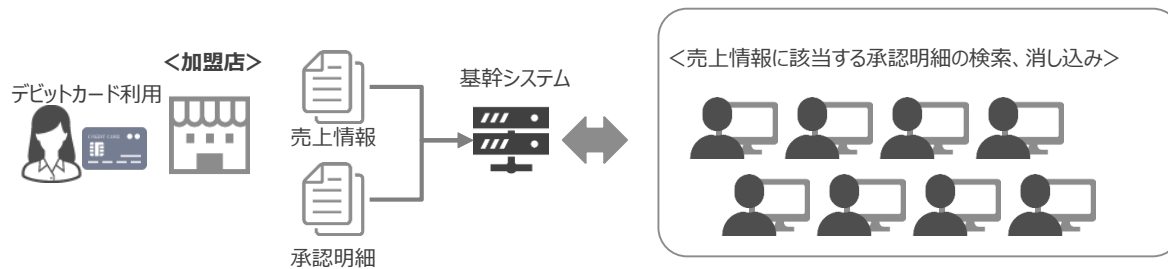
事業内容・・・クレジットカード業務、
また付随する各種受託業務等

「WinActor」導入前の課題

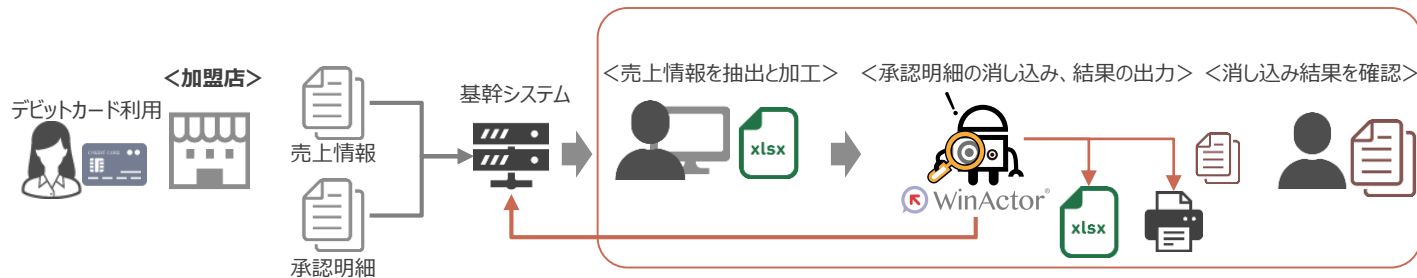
- カード決済のスキームの多様化に伴い、1万以上ある事務系の業務プロセスを円滑に行なうため、数多くの業務システムを利用している。
- しかし、現場にはシステム化では投資効果がみこめない業務が数多く存在しており、業務の効率化と作業ミス防止の観点からRPAに着目。

「WinActor」導入による業務プロセスの比較

導入前 | 売上情報と承認明細の突合と消し込み作業を複数の担当者で実施



導入後 | 売上情報を抽出しエクセルへ転記、それもとにWinActorが対象の承認明細の突合と消し込みを実施



導入から活用にあたってのポイント

- ロボットを新人社員とみなし、各ロボットに担当者をつけて稼働状況を監視
- トラブルがあれば、RPA開発部署へエスカレーションする業務フローを確立
- シナリオ作成や運用ノウハウの共有を行なう、担当者間の会議を定期的開催
- 責任者クラスによる「推進会議」にて、投資対効果の確認や、今後の方向性を検討

請求明細書の突合・消し込み作業を「WinActor」で自動化！月間**“370時間”**の作業時間削減！！

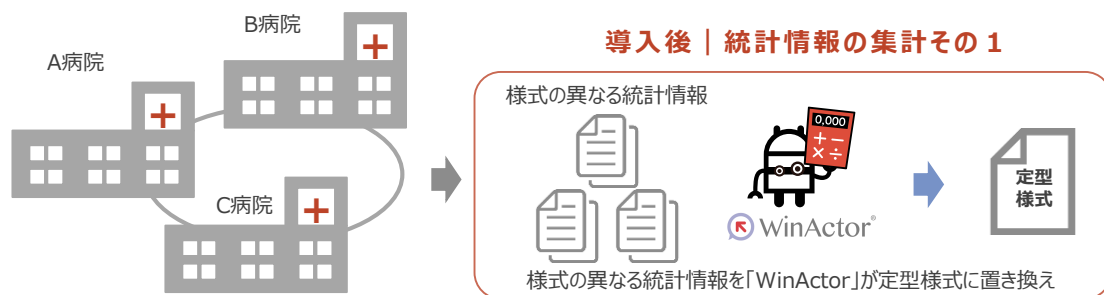
導入事例 【医療業】統計情報の集計業務等

大手医療法人 様
導入部門・・・医事課
設立・・・1986年
事業内容・・・医療

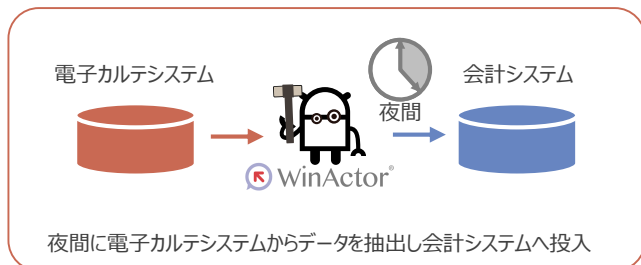
「WinActor」導入前の課題

- かねてからマイクロソフトの「Excel」をベースに医療事務を自動化するマクロを作成し業務改善を行っていた。
- しかしながら、手入力の作業が残ったりシステムに詳しいスタッフしか使えないという課題を抱えていた。

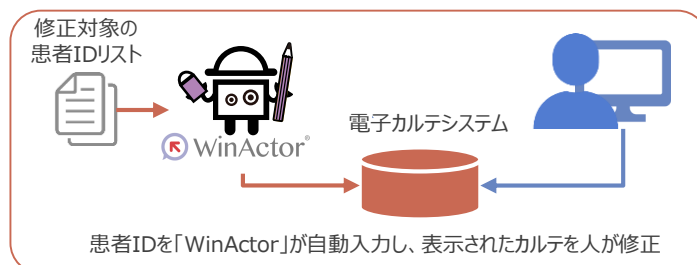
「WinActor」導入による業務プロセスの改善



導入後 | 統計情報の集計その2



導入後 | 電子カルテの内容修正（RPAと人が連携）



導入から活用にあたってのポイント

- RPAにすべてを任せるといふより、仕事をフォローさせるという意識をもつことが、RPAを使いこなすコツ
- RPAで業務改善を行なった「好例」を共有することで「自分の業務も効率化できるのでは？」と気づいてもらうことが普及のポイント

ちょっとした工夫で大きな効果を実感！それぞれ月間平均 **“46時間”** の削減！！

5

NTTデータが考える RPAの展望

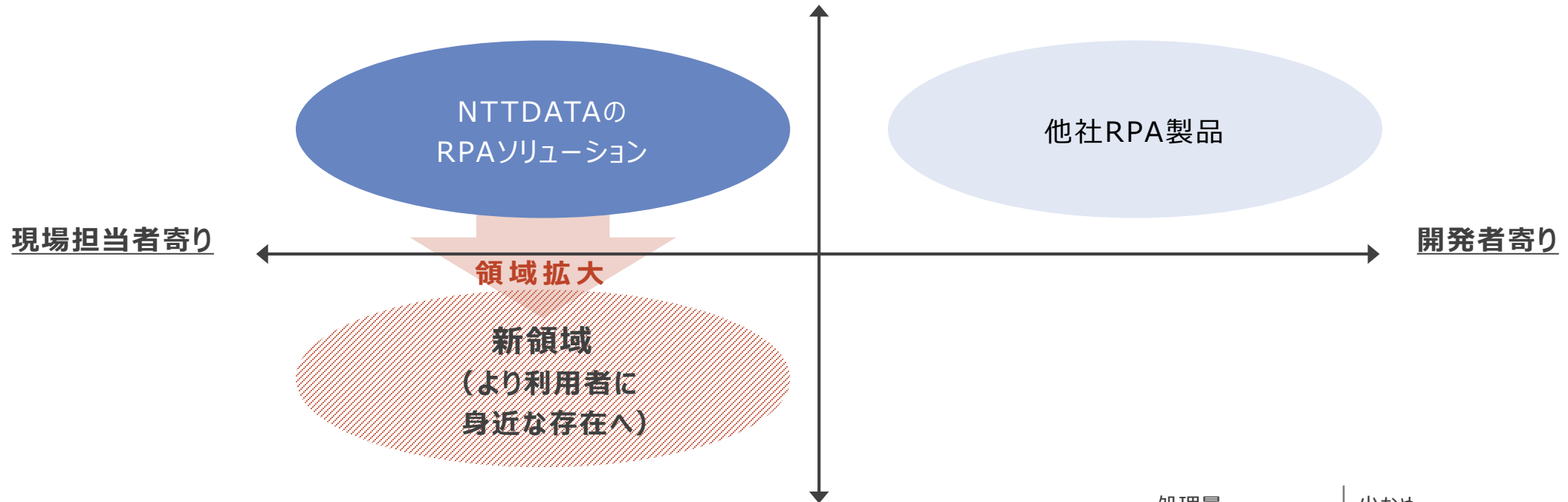
NTTデータ が考えるRPA の展望（マーケットとポジショニング）

私たちが考える今後の「RPA」は、「人に寄り添い」ながら、より利用者に身近な存在になっていきます。

「現場担当者に優しい」という基本方針は変わらず、「集中処理型」から「随時処理型」の業務まで幅広くカバーできるように成長していきます。

処理量	多め
実行されるサイクル	一定の決まりあり
例) 基幹システムの情報入力等	

集中処理型の業務



処理量	少なめ
実行されるサイクル	バラバラ
例) 日々の営業活動報告等	

随時処理型の業務

NTTデータ が考えるRPA の展望（人とロボの関係）

今後、「RPA」は人間の作業を代替するのではなく、人間と寄り添い、「人間」と「ロボ」が互いに成長する関係を構築していくようになります。ロボの発展によって、人間は高付加価値業務に集中でき、従来より幅広い業務・従来と異なる働き方ができるようになります。

秘書型ロボ



対人・対ロボの調整を担い、 人間の負担を最小化

- 自然言語を理解し、人間と会話するようにロボに指示を送ることができる。専門ロボを統制し、人間は専門ロボを意識することなく、高度な専門性を活用することができる。
- 他の人間・ロボと連携を強化し、人間とロボとで作るチームのパフォーマンスを最大化する。

専門ロボ

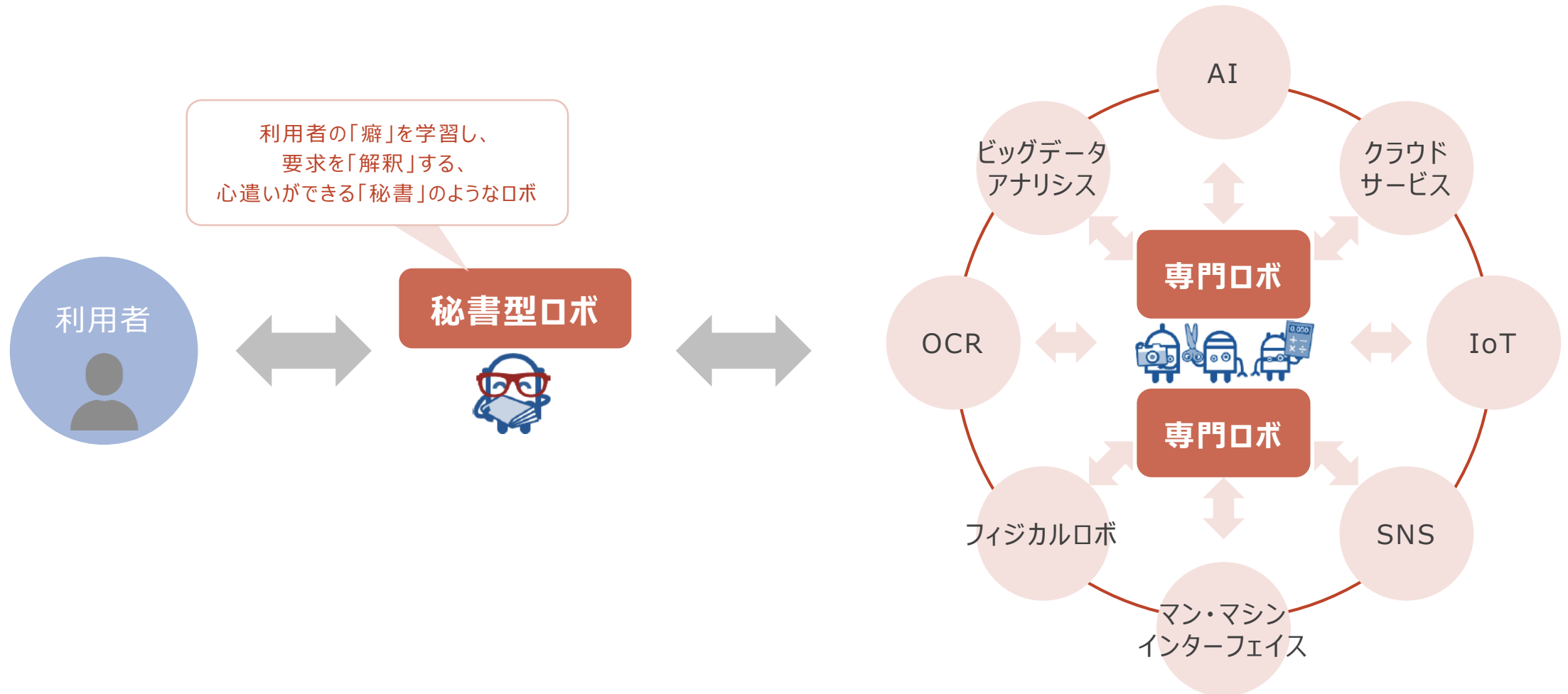


ロボが実施可能な 実務・専門領域を拡大

- 「秘書型ロボ」から受取った要求に対して、必要に応じて外部サービスと自身を連携しながら処理を行う。
- 専門ロボの支援によって、人間は定型作業から解放され、より高度な業務の遂行が可能となる。

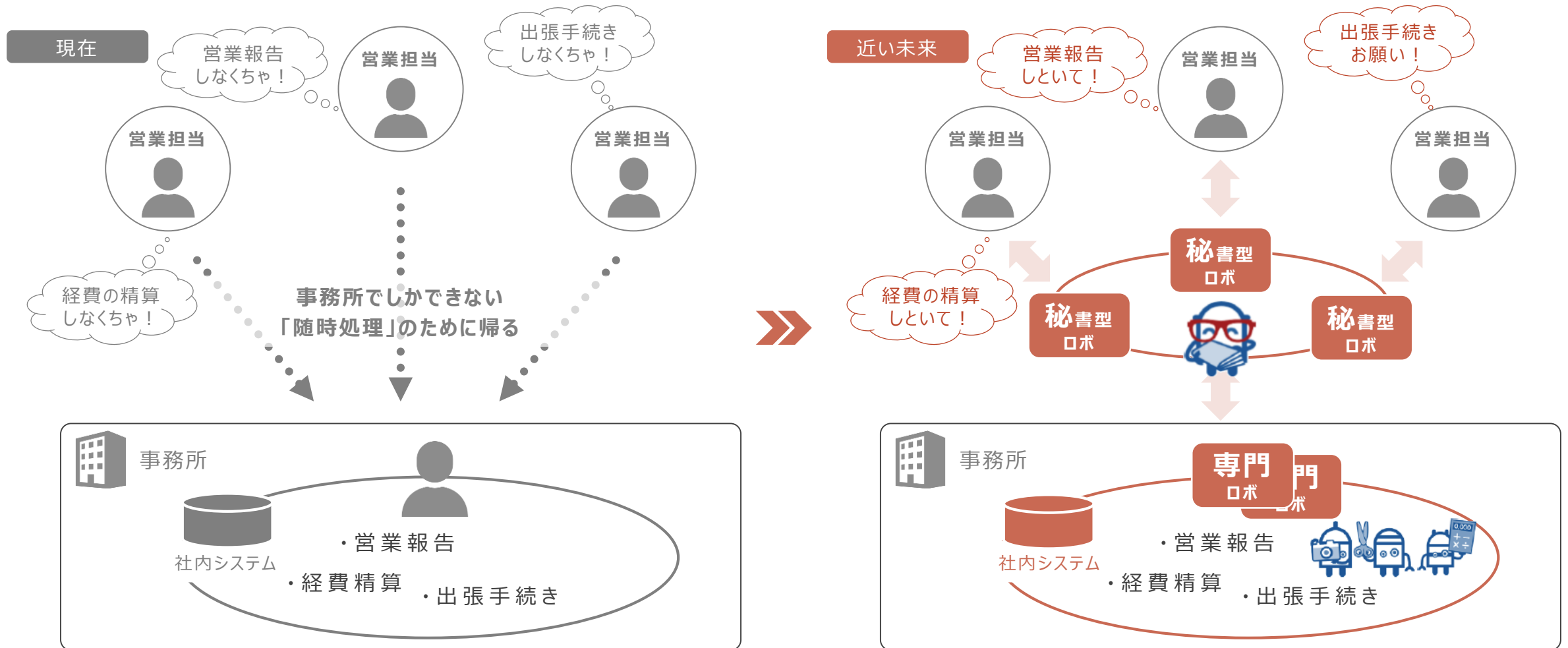
NTTデータ が考えるRPA の展望（秘書型ロボと専門ロボのイメージ）

「秘書型ロボ」は自然言語を理解し、人間（利用者）が要求した内容をきちんと「**解釈**」したうえで、「専門ロボ」に指示を送ります。
「専門ロボ」は、「秘書型ロボ」より受取った要求に対して、必要な外部サービスと自身を連携し処理を行います。



NTTデータ が考えるRPA の展望（具体例）

例えば、事務所に帰らないとできなかった「手続き」や「処理」を、「秘書型ロボ」にお願いして、事務所にいる「専門ロボ」が代行してくれる・・・
「RPA」が「より人間に身近になる」ことで、「人間はもっと高付加価値な仕事に集中できる」、私たちはこんな未来を考えています。





〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-6 NTT日比谷ビル4F

TEL : 03-6811-1260(代) FAX: 03-6205-8611

EMAIL : web@iimhs.co.jp

URL : <http://www.iimhs.co.jp/>